

(様式1)

「学校経営計画」における 賀来小中学校マネジメントツール

大分市小中一貫教育 賀来小中学校 校長 渡邊 英樹

(4月計画 ・ 7月評価 ・ 9月計画 ・ 12月評価 ・ 1月計画 ・ 年度末評価)

学校の教育目標: やさしく、かしこく、たくましく 夢の実現へ成長する子どもの育成

学校の教育目標 実現のための 喫緊の課題を 踏まえた 重点目標	重点目標に係る 目指すべき子どもの 姿となる 達成指標	達成指標を達成する または近づくための 重点的取組 ※到達不変	重点的取組に係る 具体的な 取組指標 ※誰が、何を、どれくらいの頻度で	担当	検証・改善				
					取組指標に対する 取組状況の確認		達成指標に対する 達成状況の確認		改善方策
					SAB 評価	取組状況(エビデンス)	SAB 評価	達成状況(エビデンス)	
豊かな心の育成 やさしく	○「進んで誰にでも気持ちのよい挨拶ができた」と答える1～9年生が90%以上にする。 ○「学校が楽しい」と答える1～9年生が90%以上にする。	学校 ○あいさつの徹底、規範意識を育成する。 ○「居場所」と「絆」づくりの取組を行う。 ○小中一貫教育の推進に努める。 家庭 ○「生活5原則中(あいさつ、整理整頓、時間厳守)」の習慣をつける。 地域 ○挨拶から、地域の一員であるという意識を育てる。	○週に1回以上、児童生徒が行った挨拶や規範意識のある姿を紹介し、よさを話す。 ○週に1回以上、児童生徒が行った優しい言葉かけや行動を紹介し、よさを話す。 ○毎月の児童生徒会活動、行事、縦割り班活動の計画的な取組を行う。 ○毎日、よさや努力を認める肯定的な声かけや、気持ちのよい挨拶を行う。 ○登下校で会った時に、声かけや挨拶をする。	生野・北崎	SAB評価		SAB評価		
					取組状況(エビデンス)		達成状況(エビデンス)		
					SAB評価		SAB評価		
					取組状況(エビデンス)		達成状況(エビデンス)		
確かな学力の育成 かしこく	○単元テスト(国、算、理)で1～6年生は、80点以上を75%、60点未満を5%以下にする。定期テストで7～9年生は、60点以上を80%、40点未満を10%以下にする。 ○「授業が楽しい、よくわかった」と答える1～6年生が90%以上、7～9年生が90%以上にする。	学校 ○新大分スタンダードを意識した授業を実施する。 ○小テスト等の実施により、学習の定着を図る。 家庭 ○「学習5原則中(忘れ物ゼロ、きちんと家庭学習)」の習慣をつける。 地域 ○授業参観、ボランティアとして協力する。	○日常授業で、「振り返り」を活用する。 ○月に1回授業セルフチェックシートを活用する。 ○単元に1回以上、その時間につけたい力に迫る「対話」を位置付けた授業を行う。 ○7～9年生では、小テストを単元に2回以上設定し、やり直しをいねいに行う。 ○1～6年では、小テストを単元に1回以上設定し、やり直しをいねいに行う。 ○1～6年生、毎日、宿題やノート、連絡帳に目を通す。 ○7～9年生、定期考査の計画表や成績カードに目を通す。	平野・右田	SAB評価		SAB評価		
					取組状況(エビデンス)		達成状況(エビデンス)		
					SAB評価		SAB評価		
					取組状況(エビデンス)		達成状況(エビデンス)		
健やかな体の育成 たくましく	○「運動が好き」と答える1～4年生が90%以上、5～9年生が85%以上にする。 ○「早寝・早起きを意識して、規則正しい生活を心がけた」と答える1～9年生が85%以上にする。	学校 ○一校一実践による体力アップを図る。 ○生活習慣の改善と意識の高揚を図る。 家庭 ○早寝・早起きを意識させることから、生活習慣を改善する。 地域 ○自力登校する子どもを応援する。	○体育の授業で、「翼来っ子体操」を行う。更に、体力調査に基づいた補強運動や体づくり運動を週1回以上実施する。 ○月1回以上、「スポーツチャレンジ」を実施する。 ○毎日、早寝・早起きのことを話題にする。 ○月1回以上、通信(学年・学級・保健だより)等を活用して、保護者の啓発を行う。 ○就寝前にゲームやSNSを利用しないよう、毎日、声かけを行う。 ○自力登校の子どもをしっかり励ます。	油布・江藤	SAB評価		SAB評価		
					取組状況(エビデンス)		達成状況(エビデンス)		
					SAB評価		SAB評価		
					取組状況(エビデンス)		達成状況(エビデンス)		

S:100%超 A:80～100% B:80%未満